

N1068.net の使用方法

LAN アクセス LED RJ-45 は Auto X-Detect

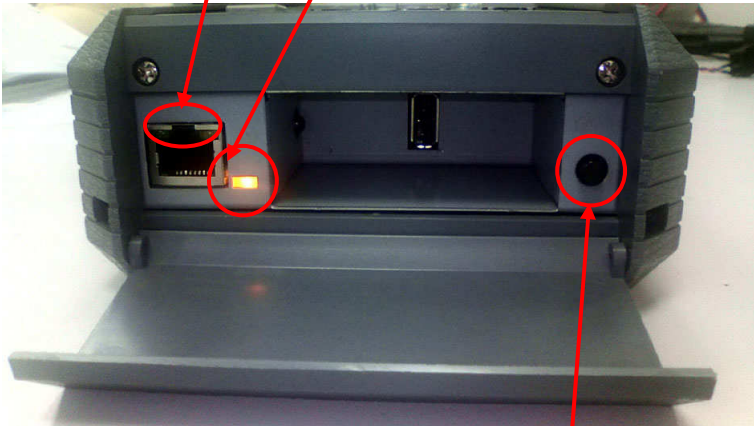
USB ステータス LED

消灯 : USB ドライブ非検出

RED : N1068 モードで USB ドライブ異常

GREEN : N1068 モードで USB ドライブ準備完了

ORANGE : N1068.net モードで USB ドライブ準備完了



■ N1068 モード / N1068.net モード切り替えスイッチ

N1068 モード : 切り替えスイッチのボタンが ■ のように突き出している時は N1068 モードです。USB ドライブは N1068 へ接続されます。

N1068.net モード : 切り替えスイッチのボタンが ■ のように押し込まれている時は **N1068.net** モードです。

USB ドライブは仮想ドライブとして PC へ接続されます。

モードの切り替えは、USB ドライブをコネクタへ挿したままで行えます。

但し、N1068 あるいは **N1068.net** が USB ドライブへアクセス中にモードを切り替えてはなりません。N1068 モードの場合は NC データの送受信が異常停止します。

N1068.net モードの場合は USB ドライブのデータが消失したり PC が異常動作したりする恐れがあります。

N1068.net モードから N1068 モードへ切り替えた時、USB ステータス LED が RED と GREEN で交互に点滅し GREEN 点灯状態で安定するまで待ってから N1068 の操作を行ってください。安定する前に操作を行うと、ファイルリストが正しく取得できない不具合が起きる恐れがあります。

N1068.net の RJ-45 は Auto X-Detect ですから、接続に使用する LAN ケーブルはストレート／クロスの何れでも使用可能です。

N1068.net の USB-Server は仮想ドライブを MAC アドレス毎に生成しますので、異なる **N1068.net** を接続する度にデバイス・インストール・ウィザードが開きドライバのインストールを促されます。

ウィザードに従って必ずドライバをインストールして下さい。

誤ってドライバのインストールをスキップしてしまった場合は、PC を Reboot してから **N1068.net** を接続して下さい。デバイス・インストール・ウィザードが開きます。

【ご注意】 N1068.net を PC の LAN へ接続する前に、必ず USB-Server をインストールして下さい。

PC 側 USB-Server の Setup 方法

【ご注意】

N1068.net を PC の LAN へ接続する前に、必ず USB-Server のインストール用実行ファイル USBServer_Setup_xxx.exe (xxx はバージョンにより違います) を PC へインストールして下さい。

この手順を守らないと正常に動作しません。

実行環境の OS は、Windows XP(Service Pack3 以降)、Windows Vista(32/64bit)、Windows 7(32/64bit)、Windows 8(32/64bit)、です。 **これらの OS 以外では動作しません。**

【ご注意】

既に USB-Server がインストールされている PC へ修復または更新の目的で、同じバージョン或いは異なるバージョンの USB-Server をインストールする場合は、

先ず PC の USB-Server の実行を停止してください。

次に LAN から N1068.net を外してください。

次にウィンドウズの[コントロール パネル]の[プログラムの追加と削除]の機能で、既存の USB-Server を PC から完全にアンインストールしてください。

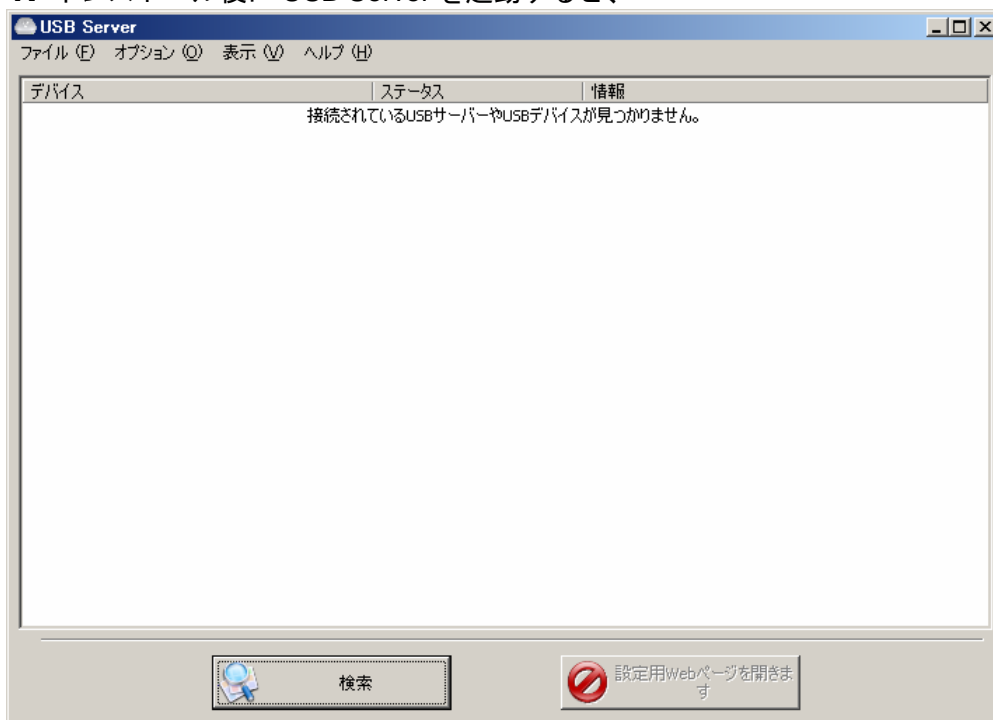
PC の再起動後にアンインストールが実行されるなど、やや複雑な操作が必要な場合があります。

インストーラの指示に従って実行してください。

完全にアンインストールが終わり PC に USB-Server が残っていない事を確認したら、改めて USB-Server をインストールしてください。

これらの手順を省くと USB-Server の起動時にエラーが起きるなど正しく動作しない恐れがあります。

1. インストール後に USB Server を起動すると、



(Ver.11 の場合)

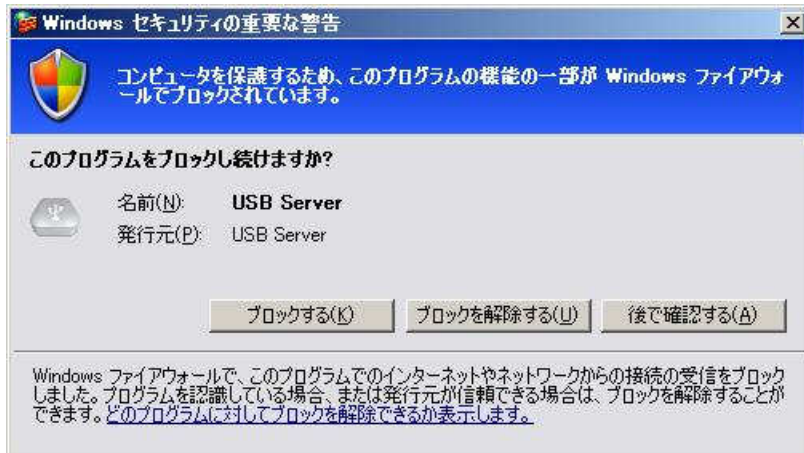
OS が日本語環境の場合は自動的に日本語で表示されます。

Ver.10 以前では言語選択を"English"でお使いいただくことをお勧めします。

Ver.11 以降では日本語を選択してお使いいただいても支障ありません。

以後の説明は Ver.11 を用いて行います。

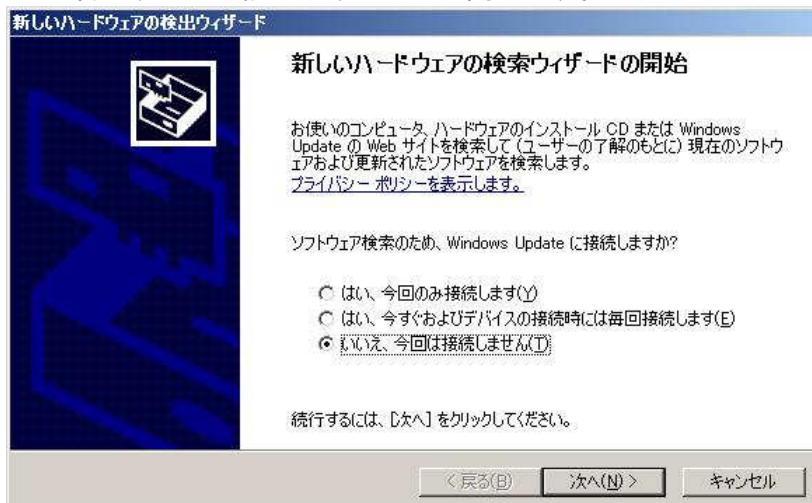
この時、Windows のファイアウォールやセキュリティソフトのファイアウォールが下図のような警告を発する場合があります。



『ブロックを解除する』を選択して、例外を追加して下さい。

2. 次に、この PC の LAN へ **N1068.net** を接続して下さい。Hub 経由でも直接接続でも構いません。ルーターを越えて接続する事は出来ませんので、ご注意下さい。

2-1. 暫くすると下記のウィザードが開きます。



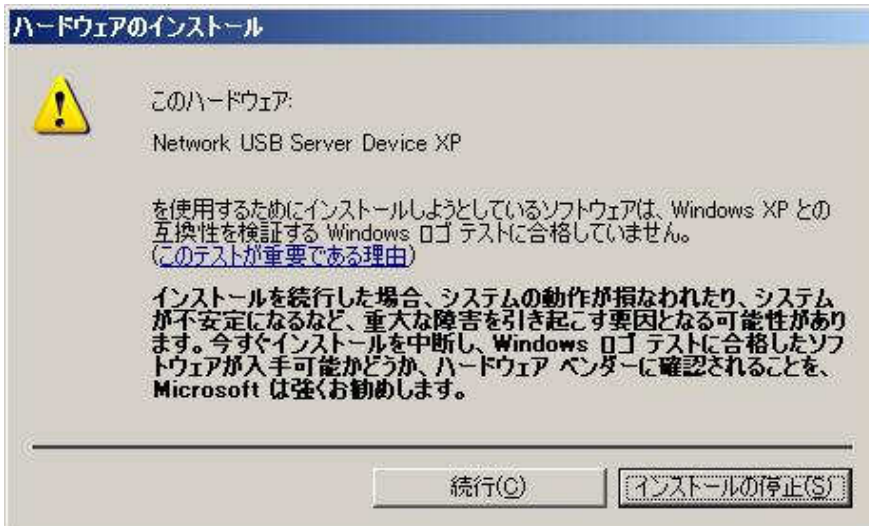
『いいえ、今回は接続しません』を選択して [次へ] をクリックして下さい。

2-2. 必要なファイルは自動的に選択されます。



『ソフトウェアを自動的にインストールする(推奨)』を選択して [次へ] をクリックして下さい。

2-3. 下記の警告が表示されますが無視してインストールを続行します。



『続行』をクリックして下さい。

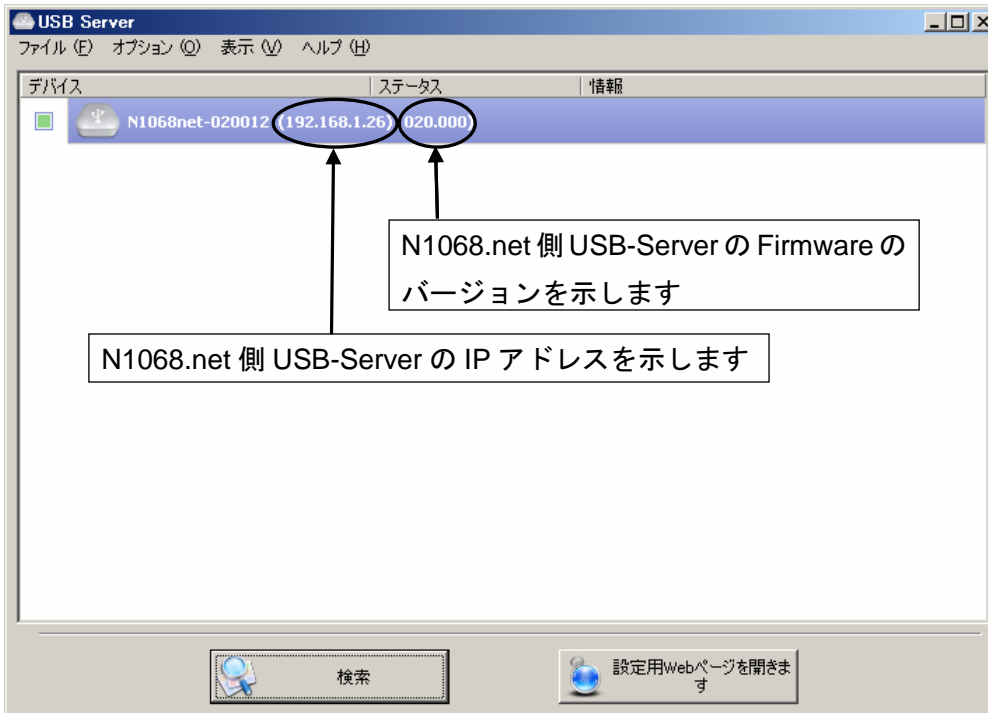
2-4. ドライバのインストールが実行されます。



2-5. ドライバのインストールが完了します。

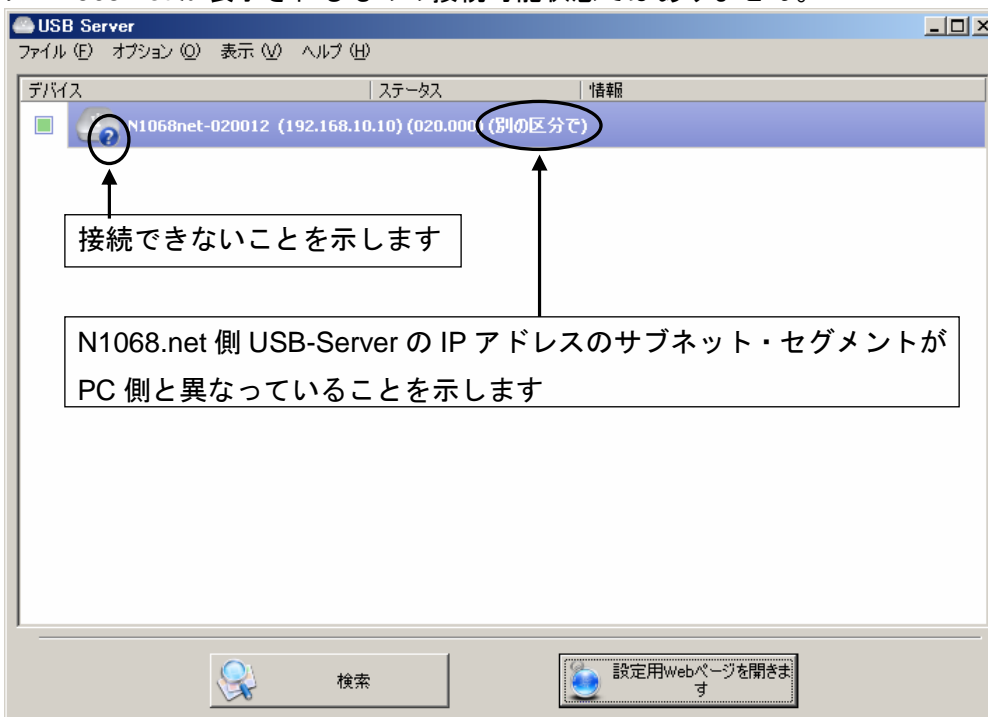


3. N1068.net が認識され一覧に表示されます。



この時、**N1068.net** 側の IP アドレスはデフォルトでは DHCP モードに設定されています。LAN 環境に DHCP サーバが存在すれば、同じサブネット・セグメントの IP アドレスが **N1068.net** にも自動的に割り当てられ、上図のように割り当てられた IP アドレスが表示されます。DHCP で接続する場合には、特別な設定なしに **N1068.net** と PC を接続する事が出来ます。

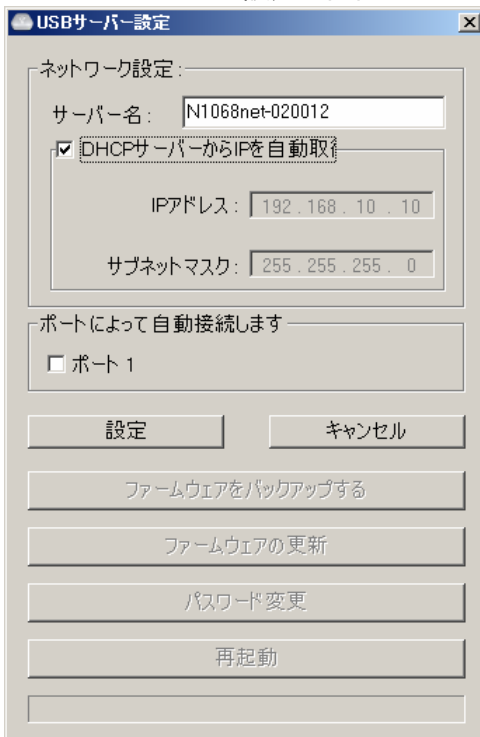
3-1. 若し LAN 環境に DHCP サーバが存在しない、又は固定 IP が割り当てられている場合には、一覧に N1068.net が表示されるものの接続可能状態ではありません。



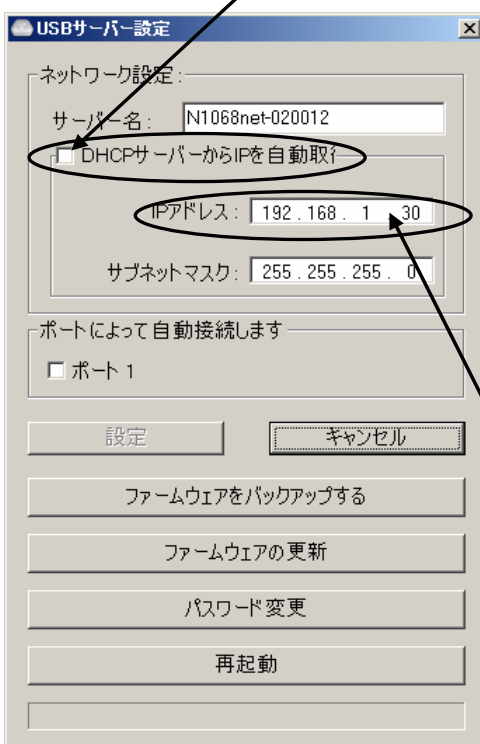
この場合は、**N1068.net** 側の IP アドレスを PC と同じサブネット・セグメントの IP アドレスに手動で設定する必要があります。

[オプション] をクリックし [USB サーバー設定] をクリックして設定画面を開いて下さい。

3-2. USB サーバー設定の画面



上図の [DHCP サーバーから IP を自動取得] のチェックを外して



PC と同じサブネット・セグメントの IP アドレスを設定して下さい。

なお、サーバー名は **N1068.net** の出荷時に

『**N1068net-XXXXXX** (XXXXXX は MAC アドレスの下 6 桁)』と仮に設定してあります。

これは変更可能ですので、**N1068.net** の用途に応じて変更してお使い下さい。

アルファベットの 大文字・小文字・数字・ハイフン・スペースが使用可能です。

3-3. 複数の N1068.net を接続する場合

USB-Server は仮想ドライブを MAC アドレス毎に生成しますので、異なる N1068.net を接続する度に 2-1.のデバイス・インストール・ウィザードが開きドライバのインストールを促されます。

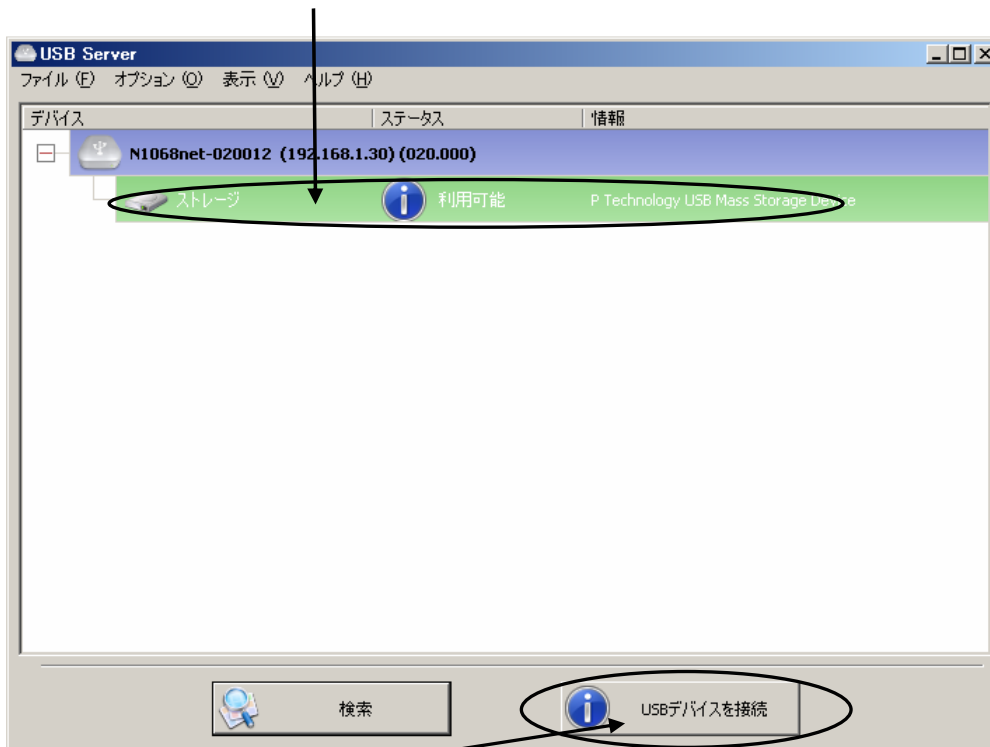
その都度、ウィザードに従って必ずドライバをインストールして下さい。

誤ってドライバのインストールをスキップしてしまった場合は、PC を Reboot してから N1068.net を接続して下さい。デバイス・インストール・ウィザードが開きます。

4. 仮想ドライブを接続する

PC と同じサブネット・セグメントに IP アドレスを割り当てられた N1068.net が N1068.net モードで USB ソケットに USB ドライブが挿入されて正しく認識されている(LED が ORANGE 点灯)と、PC 側に仮想ドライブとして接続できる表示が現れます。

接続する N1068.net をクリックして選択してください。

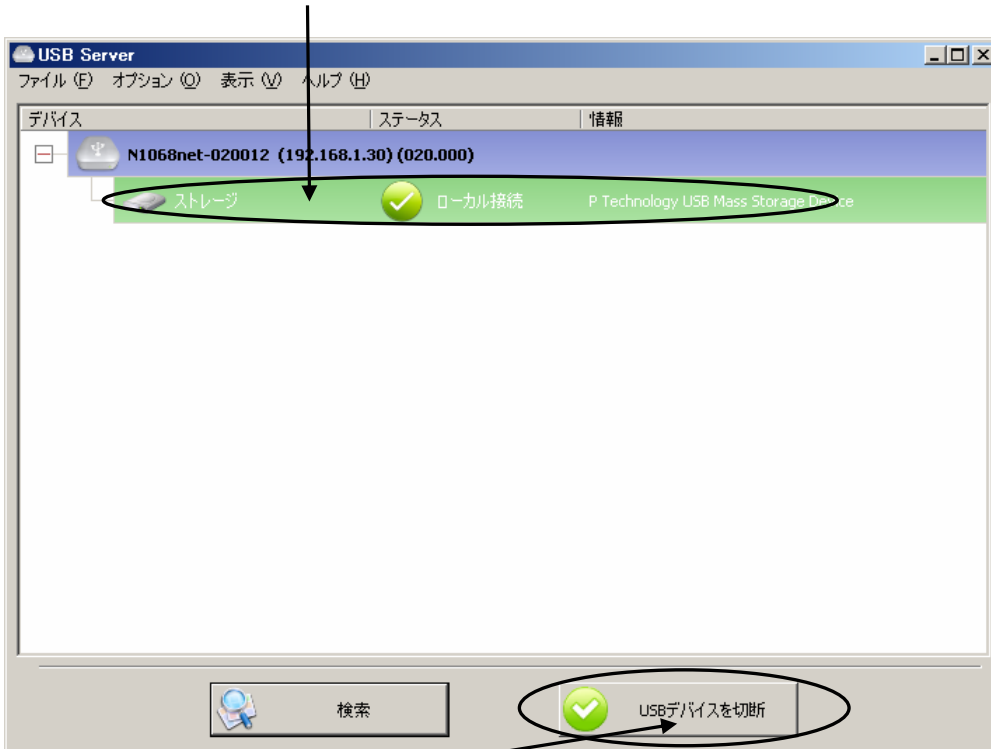


この部分の表示が「USB デバイスを接続」となるのでクリックして下さい。PC のマイコンコンピュータの『リムーバブル記憶領域がある領域』へ仮想 USB ドライブとして登録されます。

4-1. 仮想ドライブの切断

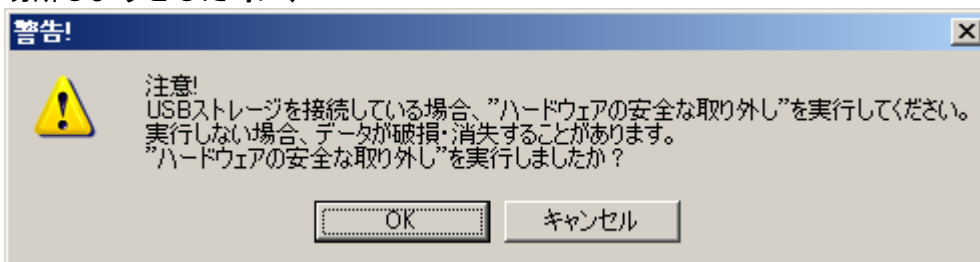
上図 [USB デバイスを接続] 表示が接続中は [USB デバイスを切断] 表示となります。
また、N1068.net 側で USB ドライブを外すかモードを N1068 に切り替えるかすると自動的に仮想ドライブは切断されます。

切断する N1068.net をクリックして選択してください。



この [USB デバイスを切断] をクリックすれば仮想ドライブを切断する事ができます。

切断しようとした時に、



と警告が出ます。

USB デバイスへの遅延書き込みなど重要な動作が終わらないうちに [USB デバイスを切断] を実行すると、予期せぬデータの消失や破損を招いたり、PC の動作に異常を来たしたりする場合があります。確信がもてない場合は、必ずウィンドウズの “ハードウェアの安全な取り外し “を実行して、係る仮想 USB ドライブの登録を抹消してから [USB デバイスを切断] を実行してください。

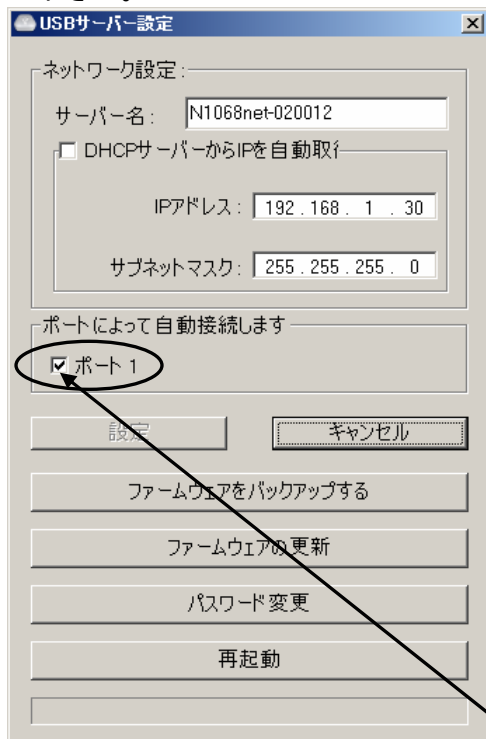
4-2. 仮想ドライブの再接続

再び接続する必要がある場合は 4. 図の [USB デバイスを接続] をクリックします。

4-3. 仮想ドライブの自動接続

予め設定した N1068.net を USB-Server へ自動的に接続することができます。

先の 3-2. と同様に [オプション] をクリックし [USB サーバー設定] をクリックして設定画面を開いて下さい。



この例では [ポート1] です。

[ポートによって自動接続します] 欄の [ポート(番号)] にチェックを入れて設定してください。これで自動接続の準備ができました。

PC と同じサブネット・セグメントに IP アドレスを割り当てられた **N1068.net** が **N1068.net** モードで USB ソケットに USB ドライブが挿入されて正しく認識される(LED が ORANGE 点灯)と、PC 側に仮想ドライブとして自動的に接続されます。

4-4. 仮想ドライブの自動切断

N1068.net が **N1068** モードに切り替わるか USB ソケットから USB ドライブが外されるかすれば、自動的に切断されます。

但し、USB デバイスへの遅延書き込みなど重要な動作が終わらないうちに切断すると、予期せぬデータの消失や破損を招いたり、PC の動作に異常を来たしたりする場合があります。

確信がもてない場合は、必ずウィンドウズの“ハードウェアの安全な取り外し”を実行して、係る仮想 USB ドライブの登録を抹消してから切断してください。